

各会派所属議員

(○印は代表者、括弧内の表記は略称)

議決された主な議案

(新年度予算議案の詳細は3面をご覧ください)

○賛成 △多数賛成 ●反対 ▲多数反対

神奈川ネットワーク運動・鎌倉 (神奈川ネット)
○三宅 真里、石川 敦子、太田 治代、石川 寿美
日本共産党鎌倉市議会議員団 (日本共産党)
○古岡 和江、高野 洋一、小田嶋 敏浩、赤松 正博
鎌倉みらい (鎌倉みらい)
○前川 綾子、伊東 正博、渡邊 昌一郎、池田 実
公明党鎌倉市議会議員団 (公明党)
○納所 輝次、西岡 幸子、大石 和久
鎌倉無所属の会 (鎌無会)
○高橋 浩司、長嶋 竜弘、安川 健人
かがやく鎌倉を創る会 (かがやく鎌倉)
○中村 聡一郎、久坂 くにえ、山田 直人
民主党鎌倉市議会議員団 (民主党)
○岡田 和則、飯野 眞毅
無所属
松中 健治、千 一、渡辺 隆、中澤 克之
※会派とは、市政に対して同じ考え方、意見を持つ議員の集団のことをいいます。本市議会では、代表質問を行ったり議会運営委員会の委員となる、いわゆる議会運営上の交渉会派は所属議員2人以上以上としています。

Table with columns: 議案, 議決結果, 会派名 (神奈川ネット, 共産党, 鎌倉みらい, 公明党, 鎌無会, かがやく, 民主党, 無所属), 無所属. Rows include items like 第76号 鎌倉市消費生活条例の一部を改正する条例の制定について, 第104号 鎌倉市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について, etc.

条例の制定

議員提出議案

鎌倉市自転車の安全利用を促進する条例

全国的に自転車が増加傾向にある中、狭隘な道路を抱える本市において、歩行者と車両との共存を図り、市民と観光客等の安全で快適な生活を確保するため、ルールやマナーを守るための啓発活動の充実や自転車の安全利用の促進に関する施策の推進と計画の策定等について基本的な事項を定めようとするものです。本年4月1日から施行しようとするものです。
議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。



市長提出議案

鎌倉市墓地等の経営の許可等に関する条例

「墓地、埋葬等に関する法律」の一部改正されたことに伴い、本年4月1日から墓地等の経営の許可等に関する事務が県から市に移譲されるた

条例の一部改正

鎌倉市消費生活条例の一部を改正する条例

「消費者安全法」の制定に伴い、消費者被害の防止と紛争調停に関する規定の充実を図るもので、消費者への訪問電話等で消費者の意に反した契約の締結の勧誘、または契約を締結してはならないとする事業者の責務の規定等を新たに定めるもので、公布の日から施行しようとするものです。

め、県条例の内容を踏まえながら、本市の実情に応じた基準や手続等について必要な事項を定めようとするもので、本年4月1日から施行しようとするものです。
議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

協定議案

大船駅東口昇降施設設置工事に関する協定の締結

大船駅東口のエスカレーター及びエレベーターの設置工事等について東日本旅客鉄道株式会社と締結しようとするものです。
この工事に係る施行協定を昨年12月12日に締結しましたが、議会の議決が必要であったことから、本年2月2日に当該協定を解除し、改めて本協定を締結しようとするもので、金額を3億4021万5千円、期間を協定締結の日から平成25年7月末日までと定めるものです。
議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

補正予算

次期補正予算案を、議会では、総員の賛成により、原案を可決しました

市道路線における電線共同溝工事等に関する協定の変更
平成19年12月定例会において議案第50号で議決した、通称小町通りで実施する電線共同溝整備事業における既存ストックの有効活用を図るための電線共同溝工事等の施行に関する協定の金額及び期間を変更しようとするものです。
変更内容としては、消費税及び地方消費税を含む330億7308万6497円とし、期間を一年間延ばし、平成24年度までとしようとするものです。
議会では、総員の賛成により、原案を可決しました

下水道事業特別会計補正予算(第4号)

入札差金等による委託料や工事請負費の減額など、歳入歳出ともに3億7190万円を減額するもので、補正後の総額は、82億6700万円となります。

下水道事業特別会計補正予算(第5号)

下水道中期ビジョン策定業務に係る鎌倉市下水道事業運営審議会の審議回数に追加が必要となったことから、その事業費に係る債務負担行為の設定をするものです。

大船駅東口市街地再開発事業特別会計補正予算

制度改正等に伴い職員給与費の減額などをするもので、歳入歳出ともに800万円を減額し、補正後の総額は、1億4060万円となります。

国民健康保険事業特別会計補正予算

一般被保険者療養給付費の増額など、歳入歳出ともに4億5920万円を追加するもので、補正後の総額は、18億3350万円となります。

公共用地先行取得事業特別会計補正予算

公債費の減額など、歳入歳出ともに4610万円を減額するもので、補正後の総額は、1億2170万円となります。

介護保険事業特別会計補正予算

保険給付費などを減額し、介護給付等準備基金積立金の経費などを追加するもので、歳入歳出ともに4920万円を減額し、補正後の総額は、126億4780万円となります。

後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歩であり、未来への「メッセージ」になると思えます。また、ご覧いただいたように、さらなる議会だよりの紙面改革が始まりました。試行錯誤を重ねながら、これからも市民にわかりやすい議会広報に取り組んでまいります。(小田嶋敏浩)
編集後記
東日本大震災から1年が経ち、開会中に発表された鎌倉市津波浸水予測図暫定版は、鎌倉を襲った過去最大の津波史料から推定されたものです。いま、先人達が警鐘する「メッセージ」をしつかりと受け止め、津波からの避難について考えたいと思えます。
さて、今議会では、議員有志による調査研究活動を目的に設立した「政策法務研究会」から最初の議会議案として、「鎌倉市自転車の安全利用を促進する条例」が提案され、可決しました。
これも議会改革の貴重な一